2023 年度　学校法人　三幸学園
福岡ウェディング＆ブライダル専門学校
自己評価報告書

自己評価報告責任者　：　副校長　石川　好典・藤川　千奈美

1. 学校の教育目標

学園のビジョン「人を活かし、日本をそして世界を明るく元気にする」、ミッション「人を活かし、困難を希望に変える」のもと、ウェディング分野の学校として「最幸の結婚式を通じて、日本そして世界の家族を明るく元気にする」というビジョンを掲げている。

また「技能と心の調和」を教育理念とし「素直な心、感謝の気持ち、高い意欲を持ち続け、自ら考え、自ら行動することで、社会に貢献する人材」、ウェディング分野として「最幸の結婚式を創り上げることを通じて、新郎・新婦だけでなく、その家族、その人生も幸せにできるNo．1のプランナー・コーディネーターとなる人材」を育成する人物像とし、専門学校として社会・業界に求められる人材の育成を進めている。

2. 前年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

① 前年度重点施策振り返り

【人材育成】

前年度の目標

・今の学生のニーズに合った指導や、カリキュラムの編成を行う。

・学生の変化に対応ができるよう研修を取り入れ、把握・対応をしていく。

・業界の変化や現状を把握する為、企業連携を図る。

振り返り

・人材育成方針をもとに「ブライダル業界で活躍できる人材を育成する」を2年間の育成軸として指導している。

・業界のニーズに合わせた指導ができるように、企業連携やカリキュラムの検討を実施している。

・就職説明会へのご参加や、行事にて審査員を務めていただくなど、企業連携を図っている。

・現代の気質やニーズに合わせた指導ができるように指導方法、伝え方など検討している。

・知識や技術だけではなく、主体性(自分の思い)を持った人材を育成している。

【キャリア教育】

前年度の目標

・企業インターンシップ先の幅広い職種を確保する。

・教職員の教育の質を向上させるために研修の実施、教科会などでの手合わせの強化を図る。

・卒業生ネットワークサイト SANKO LINK の浸透強化を行う。

振り返り

・インターンシップガイダンスを設け、学生の動機付けを行っている。

・学校全体が統一した指導ができるようにガイドブックを活用して認識の統一を図っている。

・引き続き複数担任制により、学生がアプローチできる環境の幅を広げている。

・早期選考スケジュールに向けて具体的なスケジュール組み、イベントを実施し内定に繋がる指導を実施している。

・学生のモチベーション向上、業界理解をする為の定期的なイベントを開催している。

・卒業生ネットワークサイト SANKO LINK を活用し、卒業後の情報収集に努めている。

3.評価項目の達成及び取組状況

(1)教育理念・目標

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	4
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	4
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4

① 課題

・教育理念「技能と心の調和」や人材育成像を学校内外に浸透していくことが必要

・学生の変化・ニーズによって方法を検討していくことが必要

・インターンシップを通して社会で必要とされる自主性・主体性の強化を図り、業界で求められる人材を育成する

・学生の資格取得や知識・技術面を向上させる為教職員の指導力向上と創意工夫が求められる

② 今後の改善方策

・現在の学生の変化・ニーズに合わせた対応が出来るように研修を取り入れ把握・対応をしていく

・業界の変化や具体的な動きを捉える為にも教育課程編成委員会や企業訪問を通して最新情報の把握が必要

・即戦力として活躍できる人材育成に向けて、教科担当教員の知識・技術の手合わせを引き続き実施

・教職員の業界理解を深める為の研修実施

③ 特記事項

・2026年度より業界ニーズ・方向性に合わせたカリキュラム変更を行う予定

・即戦力となる人材を育成し、業界理解を深める為、ブライダルプロジェクト・企業インターンシップなどの
実践的なカリキュラムを中心に企業連携活動に積極的に参加をしている

(2)学校運営

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4
運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4
人事、給与に関する制度は整備されているか	4
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4

① 課題

・ICT を使った授業運営は継続している(していく)為、教職員の知識理解が必要

・学校運営や授業実施において、著作権利用などの新たな規則や関係法規の理解が必要

・教科会などを使って使い方レクチャーや機能の知識を増やす

② 今後の改善方策

・全教員が把握出来るように全体会議などにおいてマニュアルの勉強会・研修を定期的に行う

③ 特記事項

・2023年度もオンデマンド授業の実施などハイブリットな取り組みを実施している

・2024年度は更にオンデマンド授業を増加させる

(3)教育活動

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
目標の設定として、教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリュキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4
関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	4

授業評価の実施･評価体制はあるか	4
職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
成績評価･単位認定の基準は明確になっているか	4
資格（免許）取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保し、組織できているか	4
関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務･兼務含め）の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	4
関連分野における先端的な知識･技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4
職員の能力開発のための研修等が行われているか	4

① 課題

･インターンシップを通して社会で必要とされる自主性･主体性の強化を図り、業界で求められる人材を育成する
･インターンシップをするメリットを明確にし、参加できる学生を増やす体制をつくる
･学生の資格取得や知識･技術面を向上させる為教職員の指導力向上と創意工夫が求められる

② 今後の改善方策

･即戦力として活躍できる人材育成に向けて、教科担当教員の指導力向上と共通認識を持った指導を行う為研修や教科会の定期的な実施を継続していく。（技術手合わせ含む）

③ 特記事項

･姉妹校合同で三幸フェスティバルを開催する等行事を実施した
･授業の質担保を目的に定期的な教科会や技術手合わせを実施した
･魅力的な授業運営ができるように研修を実施した

(4)学修成果

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
就職率の向上が図られているか	4
資格（免許）取得率の向上が図られているか	4
退学率の低減が図られているか	3
卒業生･在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3

① 課題

・退学率低減に向けて教員間での認識の統一、早期対策を立てる事が必要

・卒業後の状況や社会的な活躍及び評価を把握することは課題

・選考スケジュールの早期化に対して、対策を強化し内定に繋がる指導を行う。

② 今後の改善方策

・複数担任制でのすり合わせ強化を継続していく(認識の統一、伝え方、情報共有)

・学生との信頼関係を築くために言葉遣いや教員としての立ち居振る舞いを意識する

・卒業生の状況把握の為卒業生ネットワークサイト SANKO LINK を活発に活用していく

・卒業生との繋がり強化する為卒業生訪問を強化し、情報収集を行う

③ 特記事項

・卒業生ネットワークサイト SANKO LINK を活用し卒業後の情報収集に努めている

・複数担任制にて運営をする事により学生がアプローチできる幅を広げることができた

・オンライン活用の幅が広がり、学生のペースで繰り返し学ぶことが出来資格取得率向上に努めている

(5)学生支援

【評価項目】(評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1)	評価
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
学生相談に関する体制は整備されているか	4
学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
課外活動に対する支援体制は整備されているか	4
学生の生活環境への支援は行われているか	4
保護者と適切に連携しているか	4
卒業生への支援体制はあるか	4
中途退学者への支援体制はあるか	4
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4

① 課題

・業界理解を踏まえた早期キャリア教育として、中学校・高等学校との連携は引き続き実施

・卒業生支援の内容、卒業生ネットワークサイト SANKO LINK の活用方法を強化

・学び方の多様性(集中講義/オンデマンド)活用

・オンラインカウンセリングの設置

② 今後の改善方策

・卒業生ネットワークサイト SANKO LINK の浸透の強化は引き続き行っていく

・2021 年度より卒業生用 LINE アカウントを開設し、2022 年度から卒業生が登録出来るように積極的に促しを実施

・卒業生用 LINE アカウントを活用し卒業後も繋がれる体制を整える

・キャリア教育にて、卒業生講話として現場で活躍する卒業生と在校生の接点を強化する

・進路活動早期化に伴い、中学校への職業理解へ積極的に参加をしていく

③ 特記事項

・経済支援は引き続き、高等教育の無償化・給付奨学金の活用により充実している

・学生の生活環境支援として、スクールカウンセラーの配置、複数担任制を引き続き強化している

・保護者連携に関しては、学校行事に招待しお子様の学びを見て頂ける機会を作っている

(6)教育環境

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
学内外の実習施設,インターンシップ,海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4
防災・安全管理に対する体制は整備されているか	4

① 課題

・インターンシップの動機付けの強化

・インターンシップでの企業様との連携の強化

② 今後の改善方策

・インターンシップガイダンスを設け、学生の動機付けを行い現場に出す

・企業様へ学校理念や育成人物像などを理解して頂けるよう企業訪問を強化していく
また学校行事などを見て頂ける機会を増やし連携を図っていく

③ 特記事項

・エントランス装飾など現場のプロの方に入っていただきセンスを磨ける工夫を取り入れている

・学校行事などの成果を全生徒にも見られる環境を作っている

(7)学生の受入れ募集

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学生募集活動は、適正に行われているか	4
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
入学選考は、適性に行われているか	4
学納金は妥当なものとなっているか	4

① 課題

・早期対策が出来るように職業理解・学校理解を深める

・複数校を見に行く高校生も多い為、本校ならではの魅力を伝えられるようにする

② 今後の改善方策

・会議などを通して対応教員の業界理解・学校理解を統一出来るように研修をしていく

・教職員として進路を決める高校生に対して説明をする力を強化するロープレの実施

③ 特記事項

・福岡県専修学校各種学校協会のガイドラインに則り、AO 入試を実施している

・福岡県私学振興課主催同和研修での入試・面接実施内容を確認し、適切に面接を実施している

・業界希望者を増やす為、結婚式場コラボイベントの実施をしている

(8)財務

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
財務について会計監査が適正に行われているか	4
財務情報公開の体制整備はできているか	4

① 課題

【中長期計画】

なし

【予算・収支計画】

なし

【会計監査】
なし

【財務情報の公開】
なし

② 今後の改善方法
【中期計画】
今期は第3次中期計画(2023 年度～2027 年度)の初年度であり、ホームページ上に公開している。今後は当該計画の達成状況等についても公開予定である。

【財務情報の公開】
なし

③ 特記事項
なし

(9)法令等の遵守

【評価項目】(評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1)	評価
関係法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4
自己評価結果を公開しているか	4

① 課題
・特になし

② 今後の改善方策
・会議等で全教職員の法令遵守に対する啓蒙を継続的に図る

③ 特記事項
・ホームページ等において情報公開をしている(https://www.sanko.ac.jp/fukuoka-bridal/information/)

(10)社会貢献・地域貢献

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか	4
地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4

① 課題

特になし

② 今後の改善方策

・社会貢献・地域貢献の為、参加可能な地域活動（行事）には引き続き積極的に参加をしていく

③ 特記事項

・博多どんたく、秋のステージ博多、博多区クリーンデイ等のイベント参加

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

教育面では、挑戦するまでの一歩が出にくくなっているが、自分の感情を自分の言葉でどう伝えるか主体性を持たせることが課題となっている。

今の学生のニーズに合わせ、インターンや、1 年生のうちに経験を積ませるシステムを学校教育の中で取り入れていくことが重要となる。

早期就職に向けて、早い段階で企業様との連携を図り、内定に繋がる取り組みを実施していく。

学生支援については、現場経験のある人材が欲しいという企業様も多い為、中途採用の求人について卒業生 LINE を活用し、発信するなど、卒業生へのサポート体制も強化していく。

今後も教員側の職業理解を深め、学生に魅力を発信し、業界に求められる人材の育成に努めていく。